

物価高騰、価格転嫁に苦慮し先行きは不透明

大型連休による人流増加も収益改善には至らず

～景況DI値は、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス34.2～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 5月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比10.6ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比15.8ポイント上昇のマイナス31.6。非製造業では、前月比31.6ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス5.2。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比5.2ポイント低下のマイナス5.2、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス5.3。非製造業では、DI値前月比同水準のプラス21.1、前年同月比同水準のプラス47.4。

収益状況 製造業では、DI値前月比10.5ポイント低下のマイナス31.6、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス42.1。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス31.6。

資金繰り 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス21.0。非製造業では、前月比5.2ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比21.0ポイント低下のマイナス31.5。

雇用人員 製造業では、DI値前月比0.1ポイント上昇のマイナス5.2、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス15.8。非製造業では、前月比5.2ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比10.4ポイント上昇のプラス5.2。

景況 製造業では、DI値前月比15.7ポイント低下のマイナス31.5、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス31.6。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比15.7ポイント低下のマイナス36.8。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比10.5ポイント低下のマイナス18.4、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス34.2となった。製造業では、大型連休が絡んだことで一部業種に受注量の減少が見受けられた。また、多くの業種で原材料等の高騰による収益の悪化が続いているうえ、価格転嫁に苦慮しており業況は厳しい。非製造業では、大型連休にかけて人流が大幅に増加し、観光関連を中心に売上高は増加したものの、連休明けは人流が落ち着きを見せたことで前年同月比の収益状況の改善には至らなかった。県内景況は、引き続き原材料及び仕入価格等高騰の影響による経費負担の増加が継続しているうえ、価格転嫁にも苦慮しており不透明な状況が続いている。また、ガソリン価格の高騰により運送関連を中心に収益の悪化が深刻となっているうえ、人材確保難や物流の停滞など問題が山積しており、厳しい状況が継続している。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

5月の全国倒産は、件数1016件で、（前年同月694件、46.4%増）と、25ヵ月連続で前年同月を上回った。2012年5月（1013件）以来、12年ぶりに1000件を超えた。前年同月より322件多く、増加数はリーマン・ショック直後の2008年9月（377件増）に次ぐ2番目の多さだった。負債総額は1260億円（前年同月2797億4000万円、54.9%減）と、3ヵ月連続で前年同月を下回った。

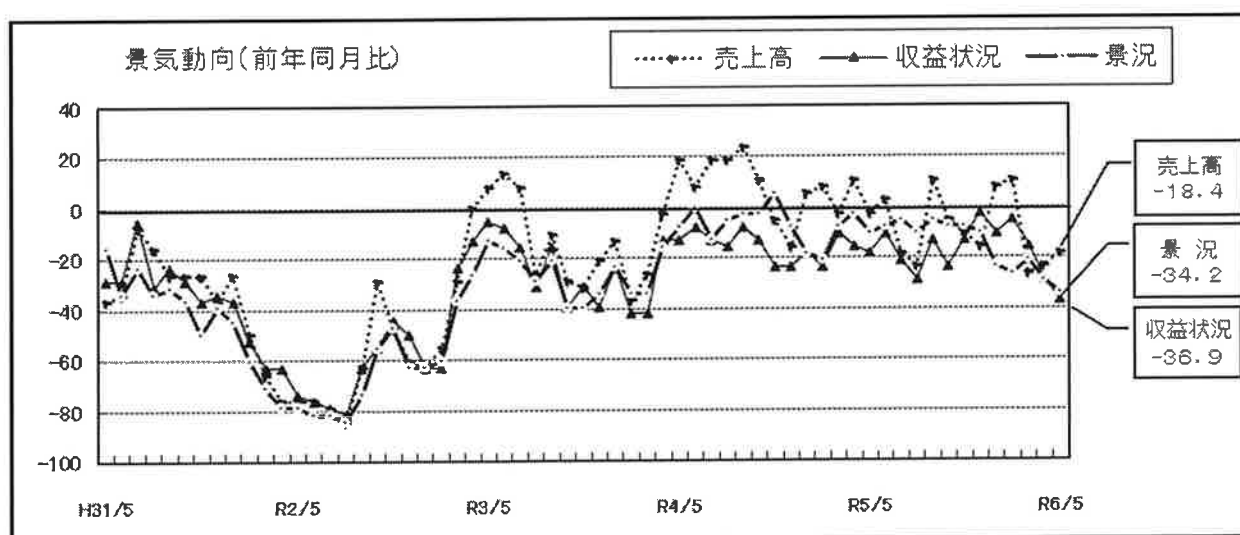
一方、5月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数3件（前月1件）、負債総額は5700万円（前月4400万円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報4月分」）

鳥取県の4月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.30倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.26倍）で、前月より0.01ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.02倍、米子所1.36倍、倉吉所1.23倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.27倍（季節調整値）で、前月より0.30ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比9.4%減少し、有効求人数も10.2%減少となった。産業別に前年同月と比較すると、製造業（4.5%）、建設業（1.8%）、運輸業・郵便業（1.7%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比2.0%減少、有効求職者数は前年同月比2.8%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.04倍で、前年同月比で0.23ポイント低下、新規求人数は前年同月に比べ21.7%減少した。



5月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	42.1%	-26.3 -10.6	42.1%	26.3%	15.8 31.6	28.9%	34.2%	-5.3 10.5
(2) 在庫数量	10.5%	0.0%	10.5 26.3	8.3%	0.0%	8.3 -8.4	9.7%	0.0%	9.7 12.9
(3) 販売価格	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	21.1%	0.0%	21.1 0.0	13.2%	5.3%	7.9 -2.7
(4) 取引条件	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 -5.2	0.0%	10.5%	-10.5 -2.6
(5) 収益状況	10.5%	42.1%	-31.6 -10.5	15.8%	21.1%	-5.3 5.3	13.2%	31.6%	-18.4 -2.6
(6) 資金繰り	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	10.5%	10.5%	0.0 5.2	7.9%	13.2%	-5.3 2.6
(7) 設備操業度	10.5%	21.1%	-10.6 0.0						
(8) 雇用人員	5.3%	10.5%	-5.2 0.1	10.5%	0.0%	10.5 5.2	7.9%	5.3%	2.6 2.6
(9) 景 況	5.3%	36.8%	-31.5 -15.7	15.8%	21.1%	-5.3 -5.3	10.5%	28.9%	-18.4 -10.5

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	47.4%	-31.6 15.8	31.6%	36.8%	-5.2 -5.2	23.7%	42.1%	-18.4 5.3
(2) 在庫数量	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	8.3%	0.0%	8.3 8.3	6.5%	6.5%	0.0 6.4
(3) 販売価格	15.8%	21.1%	-5.3 -5.3	47.4%	0.0%	47.4 0.0	31.6%	10.5%	21.1 -2.6
(4) 取引条件	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	2.6%	13.2%	-10.6 -5.3
(5) 収益状況	10.5%	52.6%	-42.1 -5.2	10.5%	42.1%	-31.6 -10.5	10.5%	47.4%	-36.9 -7.9
(6) 資金繰り	5.3%	26.3%	-21.0 10.5	5.3%	36.8%	-31.5 -21.0	5.3%	31.6%	-26.3 -5.3
(7) 設備操業度	5.3%	31.6%	-26.3 5.2						
(8) 雇用人員	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	10.5%	5.3%	5.2 10.4	7.9%	13.2%	-5.3 2.6
(9) 景 況	10.5%	42.1%	-31.6 5.2	5.3%	42.1%	-36.8 -15.7	7.9%	42.1%	-34.2 -5.3

* D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I（上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 過度な円安が続き、小麦粉等の原材料やLPGなどエネルギー価格の高騰がネックとなり収益を圧迫している。輸出をしている組合員にとってはメリットとなっている。

醬 油⇒ 県下で一番の生産規模であった事業者が自主廃業となり、業界全体への影響が出てきている。売上高は前月比で同水準、前年同月比で減少となった。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 暖冬の影響が残っており業界全体で需要が冷え込んでいる。秋ごろまでの状況が続くことが予想される。

ニット製品⇒ 引き続き衣料品小売市場は低調に推移している。海外からの輸入品は円安ながら減少しておらず、国内メーカーは操業度の維持が困難な状況となっている。

【家具装備品】

⇒ 多くの商品で値上げの動きもあり、消費マインドも冷え込んでいる状況。売上高は前月比、前年同月比ともに同水準で推移、収益状況は前月比、前年同月比ともに悪化となった。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で微減、前年同月比で減少となった。製材品および合板の生産量は前月比、前年同月比ともに同水準で推移した。素材については昨年来の需要の減少と伐採に不適な時期であることもあり出材は少なく、特に小径丸太が不足している状況。プレカット加工の稼働率は、前月比120%増加、前年同月比は45%減少で推移した。

【紙・加工品】

和 紙 ⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに減少、収益状況も前月比、前年同月比ともに減少となり、引き続き業況は厳しい。

【印 刷】

⇒ 鳥取県の印刷業界は、経済の再開と夏季に向けた事業活動が活発化しているものの、原材料の価格高騰や、効率的な予算運用の困難さに直面している。特に県や市町村からの予算割り当てが不確定な状況の中、新たな商機を模索する事業者が増えている。デジタル化の進展に伴い、オンラインプレゼンスの重要性が増しており、地域密着型サービスの提供が業界の持続可能な成長を支える鍵となっている。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 5月の生コン出荷量は、前月比で約2%減少、前年同月比で約10%増加と

なった。東部地区では昨年夏の豪雨被害への災害復旧工事案件が増えつつあるが、多現場、少量出荷、小型車中心とコストが高くメリットが薄い。西部地区では防衛省関連、米子道4車線化のトンネル工事が中心で、前年並みを維持している。業界として、若手人材の確保に苦慮している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件は中西部では受注を確保できている会社があるものの、東部は少なくなっている。価格転嫁も困難で、安値での競争により採算は悪化している。機械加工は、大型連休が明けてから自動車関連に活発な動きが見られた。短納期が重なり各社が納期対応に四苦八苦している。工作機械関連は引き続き厳しい状況。

鉄骨加工⇒ 物件の量が少なく安値での受注となり、結果として加工業者側が負担するなど、利益圧縮となり厳しい状況。また、人件費、運送、溶接材料、ガスなどの価格が軒並み上昇しているものの、価格転嫁には至っていない。

金属熱処理⇒ 受注量は大型連休の影響もあり前月比では減少となったが、前年同月比では増加した。目立った顕著な動きもなく業界全体が低迷から脱しないままである。報道による景気回復と県内の景気に乖離があり、電気料金等のエネルギーコストの負担は依然として大きい。

【電気機械器具】

⇒ 材料の供給は安定しているものの、増産の傾向は見受けられず、依然として先行きは不透明なままである。現時点で人員不足は解消されているが、増産傾向になれば不足することが懸念される。原材料等高騰による経費負担の増加により利益見込みは依然厳しい。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、取扱数量は前月比、前年同月比とも減少となった。売上高は単価の上昇により前月比、前年同月比ともに増加した。鮮魚関係では、取扱数量は前月比、前年同月比ともに減少、売上高も前月比、前年同月比ともに減少となった。取扱数量の減少が続いており、水産業は厳しい状況となっている。

中部地区⇒ 採用が難しいことからデジタイゼーションを検討する企業が増えている。人手不足や従業員の高齢化への対応へ向け、オートメーション化が徐々に進んでおり、以前より費用対効果への考えが浸透してきている。

西部地区⇒ 新型コロナの5類移行を契機に対面営業や展示会等が再開されつつある。一方、食料品・消耗品の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が散見され、影響の増大が懸念される。

水産物⇒ 5月の巻き網は大型連休明けからイワシ、サバの豊漁が続き、昨年を上回る水揚げとなった。冷凍物の荷動きは順調であるものの、冷蔵庫の処理、保管

能力の限界から一定の漁獲量制限が続いている。初夏の風物詩となった天然本マグロは例年より早く21日に始まり順調に水揚げが続いている。紅ズワイガニは漁期の終盤を睨み、出港調整もあって水揚げ量が30%程度減少し、若干浜高相場で推移した。

リサイクル原料⇒ 同業他社に業態変化があり、今後の動向に関心が高まっている。売上高は前月比で同水準、前年同月比で減少し、収益状況は依然として厳しい。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、5月度は連休中の客足も一定程度戻り、昨年に対し集客、売上ともに増加しているものの、原材料、仕入価格の高騰、人件費の増加等の要因で収益を圧迫している。円安が進むうえ、物価高騰等経済的不安要素は改善しておらず、消費マインドは下がったままで引き続き厳しい状況。物価の上昇に伴い商品、サービスの価格も上昇しており、客離れを起こし売上の低迷につながっている。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、好天が続くも商店街への人流は少なかった。商店街近辺の白壁土蔵群には大型連休中観光バスが増加したものの、商店街への回遊につながらなかった。商店街の核施設である打吹回廊もコロナ禍の影響を引きずり営業がままならず観光客の誘客に繋がらず厳しい状況が続いている。来年4月にグラントオープンする鳥取県立美術館からの人流増加へ向け、「アートで街おこし」の取り組みに注力したい。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、前年に比べ大型連休の集客も増え、連休期間は順調に推移した。下旬は冷え込む日もあり、人流は減少した。

境港市の水産物小売では、5月21日からマグロの水揚げが始まり、一般消費者からもマグロに関する問い合わせが増加した。売上高は前月比、前年同月比ともに同水準で推移した。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、大型連休には観光客の入込数が大幅に増加した。車の大渋滞が発生したことで観光客の動きが悪く、来店客の増加につながらなかった。連休後の観光客の入込数は減少し、結果的に売上高は前月比で増加、前年同月比は減少で推移した。

米子市のホテル・旅館では、大型連休の影響もあり売上高は前月比、前年同月比で増加、販売価格も上昇し、収益状況も前月比で増加した。原材料費、燃料費等、高騰しているものの、価格への転嫁も進みつつあり前月比と比較し収益は好転した。人材確保面では、依然として人手不足が続いており厳しい状況。

三朝温泉では、大型連休に入り多くの観光客で賑わったものの、大型連休が明けると集客は大幅に減少し、休館も目立った。インバウンド客も徐々に増加してきている。

羽合温泉では、5月の宿泊は前月比で6割程度増加したものの、前年同月比では2割強の減少となった。前半は大型連休もあり満室の日もあったが、後半

は施設改修やメンテナンス等で休館する旅館もあり宿泊が伸び悩んだ。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車・軽自動車を合わせて1,661台で前月比は普通車4%の減少、軽自動車約7%の増加、前年同月比は普通車約4%、軽自動車約9%の減少で、中古車は普通車・軽自動車を合わせて652台で前月比約22%減少、前年同月比約4%の増加となった。継続検査（軽自動車を含む）は15,097台で前月比約1%、前年同月比約3%の増加となった。

【建設業】

⇒ 4月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額138億円(前年同月比24.3%増)、件数222件(同30.6%増)となった。公共投資は前年同月比プラス基調となるも、設備投資は単月、3か月平均ともに大幅なマイナスとなった。住宅投資は持ち家系を中心になお弱い動き。資材価格が高止まりする中、住宅関係を中心に民間工事の不振が継続し、公共工事が下支えしている状況。物価の上昇に価格転嫁が追いついておらず、収益は悪化傾向が継続している。

4月の鳥取県新設住宅着工戸数は243戸(持家136戸、貸家107戸)で、前月比32%増加、前年同月比9%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 5月の物流は、売上高は前月比、前年同月比ともに減少しており非常に厳しい状況が続いている。物価の上昇による消費の落ち込みにより荷動きが低調な上、長引く燃料価格の高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしている。ドライバー不足の解消や荷主との価格交渉による適正運賃の収受、DXによる効率化など課題が山積している。

西部地区⇒ 5月の燃料価格については、僅かながら減少となった。また、「2024年問題」の影響により受注は減少傾向となっている。業界全体として恒常的な人員不足が深刻となっており物流の停滞に起因している。ドライバー不足は早急に対策を打たなければならない喫緊の課題となっている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・印刷業界の新たな収益源の開拓として、学校や企業向けのデジタル教育コンテンツの開発、配信の普及を図るため、必要な支援を望む。【印刷業】
- ・大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・団地は設立後半世紀以上経過しており、各社社屋が老朽化している。円安の継続、金利上昇により経済状況が逼迫している為高度化資金の申請手続きの簡素化、融資制度の創設など支援を望む。【卸売業】
- ・景気回復に寄与する政策を打ち出してもらいたい。【商店街】
- ・県立美術館とのコラボ企画プロジェクトへの参画を望む。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との 増減幅
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
売上高	製造業	-15.8	0.0	0.0	-63.1	5.2	10.5	-10.5	26.3	-15.8	-10.5	-5.3	-15.7	-26.3	-10.5
	非製造業	5.2	-15.8	-21.1	26.3	-26.3	21.0	31.6	-10.5	-36.8	15.8	57.9	-15.8	15.8	10.6
	全業種	-5.3	-7.9	-10.5	-18.4	-10.5	15.8	10.5	7.9	-26.3	2.6	26.3	-15.8	-5.3	0.0
在庫数量	製造業	10.5	10.5	-5.2	-10.6	-21.1	-15.8	-5.2	-31.6	0.0	-5.2	-10.5	-15.8	10.5	0.0
	非製造業	0.0	0.0	8.3	-8.3	8.4	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	8.3	8.3
	全業種	6.5	6.4	0.0	-9.6	-9.6	-16.1	-3.2	-12.9	0.0	0.0	-3.2	-3.2	9.7	3.2
販売価格	製造業	0.0	-5.3	-10.6	-15.8	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	5.3	10.5	5.2	0.0	-5.2	-5.2
	非製造業	10.6	5.3	21.1	31.6	-5.3	0.0	42.1	36.8	0.0	10.5	0.0	21.1	21.1	10.5
	全業種	5.3	0.0	5.3	7.9	-10.5	-7.9	18.4	15.8	2.6	10.5	2.6	10.6	7.9	2.6
取引条件	製造業	0.0	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5
	非製造業	0.0	0.0	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	-10.5	-10.5
	全業種	0.0	0.0	-5.3	-2.7	-2.7	-2.7	-2.7	0.0	-2.6	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-10.5
収益状況	製造業	-15.8	-31.5	-21.1	-47.3	-31.5	-10.5	-15.8	10.5	-21.1	-15.8	-10.6	-21.1	-31.6	-15.8
	非製造業	-10.5	-15.8	-47.4	21.0	-21.0	26.3	26.3	0.0	-31.5	15.8	31.6	-10.6	-5.3	5.2
	全業種	-13.2	-23.7	-34.2	-13.1	-26.3	7.9	5.2	5.2	-26.3	0.0	10.6	-15.8	-18.4	-5.2
資金繰り	製造業	-10.5	-15.8	-15.8	-21.1	-15.8	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	0.0
	非製造業	0.0	-15.8	-26.3	-5.3	-26.3	0.0	10.5	-10.5	-26.3	0.0	15.8	-5.2	0.0	0.0
	全業種	-5.2	-15.8	-21.1	-13.1	-21.1	-5.3	2.6	-5.2	-15.8	-10.6	2.6	-7.9	-5.3	-0.1
設備操業度	製造業	-10.5	-10.5	-5.2	-36.8	-10.5	-5.3	-10.5	15.8	-15.8	-5.3	0.0	-10.6	-10.6	-0.1
雇用人員	製造業	-5.3	0.0	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	0.1
	非製造業	10.5	-10.5	5.3	10.5	-10.5	0.0	5.3	0.0	-15.8	0.0	15.8	5.3	10.5	0.0
	全業種	2.7	-5.3	2.6	-5.2	-10.5	-5.3	-2.7	0.0	-15.8	-5.3	2.6	0.0	2.6	-0.1
景況	製造業	-36.8	-36.8	-21.0	-52.6	-31.6	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-26.3	-10.5	-15.8	-31.5	5.3
	非製造業	15.8	10.6	-21.1	21.1	-5.3	10.5	15.8	0.0	-36.8	0.0	31.5	0.0	-5.3	-21.1
	全業種	-10.6	-13.2	-21.1	-15.8	-18.4	-7.9	0.0	-5.3	-26.3	-13.1	10.6	-7.9	-18.4	-7.8

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
売上高	製造業	-31.6	-36.8	-42.1	-52.7	-15.8	-36.8	-26.3	-15.7	-15.8	-26.3	-42.1	-47.4	-31.6	0.0
	非製造業	26.3	42.1	5.3	5.3	36.9	26.3	5.2	-15.8	31.6	47.4	-10.5	0.0	-5.2	-31.5
	全業種	-2.6	2.6	-18.4	-23.6	10.5	-5.3	-10.5	-15.8	7.8	7.8	-26.3	-23.7	-18.4	-15.8
在庫数量	製造業	-5.3	-10.5	-21.0	-21.0	-21.1	-26.3	-26.3	-31.6	-21.1	-15.8	-26.3	-10.5	-5.2	0.1
	非製造業	8.4	8.4	8.4	-8.3	8.3	-8.3	8.3	16.7	16.7	16.7	25.0	0.0	8.3	-0.1
	全業種	0.0	-3.2	-9.7	-16.2	-9.7	-19.4	-12.9	-12.9	-6.4	-3.2	-6.4	-6.4	0.0	0.0
販売価格	製造業	26.3	10.5	15.7	5.2	0.0	5.2	5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	-31.6
	非製造業	36.9	47.3	52.6	57.9	47.3	42.1	52.6	47.3	42.1	47.3	52.6	47.4	47.4	10.5
	全業種	31.5	28.9	34.2	31.6	23.6	23.7	28.9	26.3	23.7	21.0	23.7	23.7	21.1	-10.4
取引条件	製造業	-5.2	-21.0	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-5.2	-10.5	-10.5	-15.8	-10.6
	非製造業	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	0.0	-5.3	10.5
	全業種	-10.5	-21.1	-13.2	-15.8	-13.2	-13.2	-15.8	-7.9	-13.2	-2.6	-13.2	-5.3	-10.6	-0.1
収益状況	製造業	-47.3	-47.3	-42.1	-57.9	-47.3	-52.6	-26.3	0.0	-26.3	-36.8	-21.1	-36.9	-42.1	5.2
	非製造業	10.5	26.3	0.0	0.0	21.0	5.3	0.0	-5.3	5.3	26.3	-10.5	-21.1	-31.6	-42.1
	全業種	-18.4	-10.5	-21.0	-29.0	-13.1	-23.6	-13.1	-2.6	-10.5	-5.2	-15.8	-29.0	-36.9	-18.5
資金繰り	製造業	-42.1	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-15.8	-15.8	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	21.1
	非製造業	-10.6	0.0	-10.5	-21.0	5.3	0.0	-10.5	-5.3	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-31.5	-20.9
	全業種	-26.3	-15.8	-23.7	-23.6	-13.2	-10.5	-13.1	-10.5	-15.8	-18.4	-21.1	-21.0	-26.3	0.0
設備操業度	製造業	-21.0	-31.6	-31.6	-52.6	-31.5	-36.8	-31.6	-10.5	0.0	-10.6	-21.1	-31.5	-26.3	-5.3
雇用人員	製造業	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	-15.8	0.0
	非製造業	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-5.2	-15.8	-5.2	0.0	-5.2	5.2	-5.2	5.2	15.7
	全業種	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-5.3	-15.8	-15.8	-7.9	-7.9	-5.3	7.8
景況	製造業	-42.1	-42.1	-36.8	-36.8	-26.3	-26.3	-21.0	-21.1	-31.6	-42.1	-21.1	-36.8	-31.6	10.5
	非製造業	21.1	26.3	26.3	15.8	15.8	10.5	5.3	0.0	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-36.8	-57.9
	全業種	-10.5	-7.8	-5.3	-10.5	-5.2	-7.9	-7.9	-10.5	-23.7	-26.3	-21.1	-28.9	-34.2	-23.7

情報連絡員報告総括表（令和6年5月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－1 業界の景気動向（前月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況									
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化							
製造業	食料品																																	
	繊維工業																																	
	木材・木製品																																	
	紙・紙加工品																																	
	出版・印刷																																	
	化学ゴム																																	
	窯業・土石製品																																	
	鉄鋼・金属																																	
	一般機器																																	
	電気機器																																	
非製造業	輸送用機器																																	
	その他																																	
	19	3	8	2	17	0	1	16	2	0	17	2	2	9	8	1	15	3	2	13	4	1	16	2	1	11	7							
	100%	15.8%	42.1%	10.5%	89.5%	0.0%	5.3%	84.2%	10.5%	0.0%	89.5%	10.5%	10.5%	47.4%	42.1%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	68.4%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	57.9%	36.8%							
	卸売業																																	
	小売業																																	
	商店街																																	
	サービス業																																	
	建設業																																	
	運輸業																																	
その他																																		
19	8	6	5	1	10	0	4	15	0	0	17	2	3	12	4	2	15	2											2	17	0	3	12	4
100%	42.1%	31.6%	26.3%	8.3%	83.3%	0.0%	21.1%	78.9%	0.0%	0.0%	89.5%	10.5%	15.8%	63.2%	21.1%	10.5%	78.9%	10.5%											10.5%	89.5%	0.0%	15.8%	63.2%	21.1%
38	11	14	13	3	27	0	5	31	2	0	34	4	5	21	12	3	30	5	2	13	4	3	33	2	4	23	11							
100%	28.9%	36.8%	34.2%	9.7%	87.1%	0.0%	13.2%	81.6%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	13.2%	55.3%	31.6%	7.9%	78.9%	13.2%	10.5%	68.4%	21.1%	7.9%	86.8%	5.3%	10.5%	60.5%	28.9%							

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化				
製造業	食料品	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0			
	繊維工業	0	0	3	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	1	2	0	1	1	1	2	0	0	1	2			
	木材・木製品	0	2	2	0	3	1	0	3	1	0	2	0	1	3	0	2	2	0	2	0	3	1	0	1	3		
	紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1		
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0		
製造業	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0		
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	0	0	2	0	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2		
	一般機器	1	1	1	0	3	0	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0		
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0		
製造業	輸送用機器																											
	その他																											
	19	3	7	9	1	16	2	3	12	4	1	14	4	2	7	10	1	13	5	1	12	6	1	14	4	2	9	8
	100%	15.8%	36.8%	47.4%	5.3%	84.2%	10.5%	15.8%	63.2%	21.1%	5.3%	73.7%	21.1%	10.5%	36.8%	52.6%	5.3%	68.4%	26.3%	5.3%	63.2%	31.6%	5.3%	73.7%	21.1%	10.5%	47.4%	42.1%
	非製造業	卸売業	3	2	1	1	5	0	3	3	0	0	6	0	2	3	1	0	6	0	0	0	0	1	5	0	1	5
小売業		0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
商店街		1	2	1	0	4	0	2	2	0	0	3	1	0	2	2	0	2	0	2	0	4	0	0	0	2	2	2
サービス業		1	1	3				3	2	0	0	5	0	0	2	3	1	1	3	1	3	1	0	3	1	0	2	3
建設業		1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
製造業	運輸業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2
	その他																											
	19	6	6	7	1	10	0	9	10	0	0	18	1	2	9	8	1	11	7				2	16	1	1	10	8
	100%	31.6%	31.6%	36.8%	8.3%	83.3%	0.0%	47.4%	52.6%	0.0%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	47.4%	42.1%	5.3%	57.9%	36.8%				10.5%	84.2%	5.3%	5.3%	52.6%	42.1%
	38	9	13	16	2	26	2	12	22	4	1	32	5	4	16	18	2	24	12	1	12	6	3	30	5	3	19	16
100%	23.7%	34.2%	42.1%	6.5%	83.9%	6.5%	31.6%	57.9%	10.5%	2.6%	84.2%	13.2%	10.5%	42.1%	47.4%	5.3%	63.2%	31.6%	5.3%	63.2%	31.6%	7.9%	78.9%	13.2%	7.9%	50.0%	42.1%	